

## 執筆者一覧

(50音順)

氏名	所属・職位	専門分野
青野 真奈美	協会けんぽ 静岡支部	栄 養 学
天野 ゆかり	本学社会福祉学科・助教	介 護 福 祉 学
岩 崎 圭 介	静岡済生会総合病院	社 会 福 祉 学
海野 有美子	本学看護学科・助教	成 人 看 護 学
榎 本 信 雄	えのもと循環器科・内科	医 学
奥 田 都 子	本学社会福祉学科・准教授	家族関係学、生活経営学
北 島 和 子	日本看護協会	看 護 学
木 林 身 江 子	本学社会福祉学科・講師	介 護 福 祉 学
児 玉 美 鈴	静岡厚生病院	看 護 学
鈴 木 温 子	本学看護学科・准教授	歯 科 衛 生 学
永 倉 み ゆ き	本学社会福祉学科・教授	児 童 学、保 育 学
中 澤 秀 一	本学社会福祉学科・准教授	社会政策、社会保障
前 野 真 由 美	本学看護学科・講師	成 人 看 護 学
前 野 竜 太 郎	前 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部	理 学 療 法 学
山 田 隆 之	医療ソーシャルワーカー	社 会 福 祉 学
山 本 学	本学社会福祉学科・講師	音楽教育学、こども学

## 業 績 一 覧

各学科等ごと、50音順に掲載

(2014年1月～12月)

## 一 般 教 育 等

氏 名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
林 恵 嗣	"Effect of postprandial thermogenesis on the cutaneous vasodilatory response during exercise"	<i>Applied Physiology, Nutrition, and Metabolism</i> 39(8) 920-926 2014.Aug.	共著 (筆頭)
	"Effects of CO <sub>2</sub> on ventilatory and cerebrovascular responses during passive heating in humans"	<i>19th annual congress of the European College of Sport Science. Book of abstracts</i> p150 2014年7月	共著
	「体温上昇による換気亢進反応」	第22回日本運動生理学会大会 プログラム・抄録集 p39 2014年7月	単著
	「体温上昇による呼吸の変化」	第28回呼吸研究会 抄録集 p6 2014年9月	単著

## 看護学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
古賀 震	「科学的根拠に基づいた感染症に伴うDIC治療のエキスパートコンセンサスの追補」	『日本血栓止血学会学誌』25(1) p123-125 2014	共著
	「診断に苦慮した著明な血小板低下症例の臨床的解析」	『第13回 TTM フォーラム記録』 p35-42 2014.2.14.	共著
	「採血からの時間経過に伴い血小板数が正常化した症例」	『第14回 TTM フォーラム講演集』 p12 2014.3.8.	共著
	「難解な医学教育(解剖生理学、医学一般、病態と治療学)などの講義・授業をわかりやすく楽しく理解・記憶させる学習法の開発」	『US フォーラム 2014』 p176 2014年9月	共著
	「静岡県立大学・静岡県立大学短期大学部における感染症(小児感染症、B型肝炎、季節性・新型インフルエンザ)に対する現状の調査と感染症予防策に関する研究」	『US フォーラム 2014』 p36 2014年9月	共著
	「静岡県立大学短期大学部 健康支援センター 活動報告 2013」	『静岡県立大学短期大学部健康支援センター活動報告 2013』(2013.04-2014.03) 2014.07	共著
	採血後低下していた血小板数が時間経過と共に回復が認められた症例	『臨床血液』 Vol.55 No.9 p625 2014	共著
"Clinical Usefulness of the Measurement of Soluble Fibrin Monomer-Fibrinogen Complex (SF) in Patients with the Disseminated Intravascular Coagulation Syndrome (DIC) or with Hypercoagulable States."	<i>Program of The 11th Japan-China International Symposium on Health Sciences. Program and Abstracts Organized by University of Shizuoka, Zhejiang Academy of Medical Sciences November 5-6,2014 Shizuoka, Japan, p17</i>	共著	
「凝固系分子マーカー」	『徹底ガイド DIC のすべて 2014-15』(救急・集中治療 vol.26 No.5・6) p721-727, 2014	単著	
長澤 利枝	「A 短期大学の歯科衛生学生・看護学生と社会福祉学生・介護福祉学生における被災者支援に関わる態度の比較」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』 Vol. 5 (1) p52-57 2014年5月	共著
深江 久代	『標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動』	p 78-109 医学書院 2014年1月	共著
	「保健師のためのクレーム対応のあり方ー熟練保健師が持つ技術と判断ー」	『第2回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集』 p 122 2014年1月	共著
	「保健師のためのクレーム対応のあり方ークレーム対応において組織として必要なことー」	『第2回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集』 p 123 2014年1月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
深江 久代	『2015年版 保健師国家試験問題 解答と解説』	p 4-12 p 16-19 p 144-151 p 178-181 医学書院 2014年4月	共著
	「介護老人保健施設での老年看護実習において困難感を表出した学生の学びについて」	『日本看護学教育学会誌 第24回学術集会講演集』 p 156 2014年8月	共著
	「介護老人保健施設での老年看護実習における学生の学びの獲得過程とその構造について」	『USフォーラム 2014』 p178 2014年9月	共著
	「保健師としてのクレーム対応のあり方と組織としての対応 熟練保健師がもつ経験知の質的な分析から」	『保健師ジャーナル』 Vol. 70 No. 12 p 1067-1073 2014年12月	共著
前野 真由美	「外国人のための無料健康相談と検診会 - 検診結果報告 -」	『外国人のための無料健康相談と検診会 - 第16回報告集 -』 p 9-17 2014年3月	共著
	「外国人のための無料健康相談と検診会 - 検診会受診者アンケート -」	『外国人のための無料健康相談と検診会 - 第16回報告集 -』 p 18-20 2014年3月	単著
	「外国人無料健康相談と検診会の受診者の動向 - 検診会報告書の7年間より」	『第29回日本国際保健医療学会 東日本地方会 プログラム・抄録集』 p35 2014年5月	共著

## 歯科衛生学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
有泉 祐吾	「歯科衛生士養成教育における学生の就学実態からみた学生支援に関する検討ー就学状況と学生支援の現状ー」	『第33回日本歯科医学教育学会総会および学術大会プログラム・抄録集』p127 2014年7月	共著
	「育児学習会への参加しやすさに影響する因子の予備的検討」	『日本公衆衛生雑誌』Vol.61(10)p412 2014年10月	共著
海老名 和子	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす効果について」	『日本公衆衛生誌』Vol.61(10)特別抄録 p519 2014年10月	共著
木林 美由紀	「高校生の歯科衛生士に対する職業認知と歯科受診理由との関連性」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』5(1) p65-71 2014年5月	単著
	"The Relations with Ability of Mastication and the Health"	<i>Bit' s 1st Annual International Congress of Oral &amp; Dental Medicine-2014</i> p46	単著
	"Relevance of ability of mastication and vegetable eating behavior"	<i>11th International Conference Asian Academy of Preventive Dentistry</i> 2014 p95	単著
	「咀嚼力育成を目指した食育支援プログラムの効果ー咀嚼意識および食への期待感の変化ー」	『小児歯科学雑誌』52巻2号 p240 2014	単著
	「咀嚼力向上および育成を目的とした食育支援プログラムの有効性」	『口腔衛生学会雑誌』第64巻第2号 p217 2014年4月	単著
	「食育支援における咀嚼力の育成に影響を及ぼす摂取野菜に関する研究」	第78回全国学校歯科保健研究大会 p44 2014年10月	単著
鈴木 温子	「健口生活～口腔ケアとは～」	『互助新聞』Vol.545 p6 静岡県教職員互助組合 2014年2月	共著
	「歯科口腔外科を有する病院における病棟看護師の口腔ケアに対する意識と実態」	『USフォーラム 2014』口頭発表 p38 2014年9月	共著
	「健康寿命は口腔機能の活性化から～歯の定期健診のすすめ～」	『平成26年度市民大学リレー講座』第5回講演 静岡市生涯学習推進課 2014年10月	単著
	「高齢者のお口の健康管理」	『第19回静岡健康・長寿学術フォーラム』セッションVI-講演2 p52 2014年11月	単著
	「歯科医院における院内スタッフの安全確保」	『月刊保団連』No.1175 p27-32 全国保険医団体連合会 2014年12月	単著
中野 恵美子	「歯科衛生過程の教育への導入に関するニーズー教員の理解度と教育実践上の課題ー」	『日本歯科衛生教育学会雑誌』Vol.5(2) p101-115 2014年10月	共著
	「歯科衛生理論の構築に向けてー国内における看護理論の活用状況についてー」	『日本歯科衛生学会雑誌』Vol.9(1) p129 2014年8月	単著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
中野 恵美子	「参加型健康教育における保護者の養育意識・態度への影響」	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.9 (1) p182 2014年8月	共著
	「育児学習会への参加しやすさに影響する因子の予備的検討」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) p412 2014年10月	共著
	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす影響について」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) p519 2014年10月	共著
中村 和美	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす効果について」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) 特別附録 p519 2014年10月	共著
野口 有紀	健康とライフスタイルに関する国際比較研究～日中共同研究を出発点として～	平成25年度埼玉県立大学奨励研究報告書I p5-8 2014年2月	共著
	「武里団地における住民主体の健康なまちづくり」-若者と築く「健康長寿武里モデル」	平成25年度埼玉県立大学奨励研究報告書I p49-52 2014年2月	共著
	「中国・韓国・台湾・日本における歯磨き回数の国際比較」	『口腔衛生学会雑誌』 Vol.64 (2) p244 2014年4月	共著
	「生活歯援プログラム」を利用した自立高齢者への保健指導の効果	『日本歯科衛生学会雑誌』 Vol.9 (1) p 191 2014年8月	共著
	「日本・中国・台湾・韓国におけるBMIと主観的体型に関する国際比較」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) p 342 2014年10月	共著
	「うつ傾向とライフスタイルの関連性-松本市、越谷市、熊谷市の比較-」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) p 344 2014年10月	共著
	「食生活の心がけと栄養成分表示の参考状況-松本市、越谷市、熊谷市の比較-」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61 (10) p 579 2014年10月	共著
森野 智子	"Effects of Professional Oral Health Care on Elderly: Randomized Trial."	<i>International Journal of Dental Hygiene</i> , 2014.11 p291-297 (ORIGINAL ARTICLE)	共著
	「牧之原市の65歳高齢者における地域支援事業の歯科相談参加行動に関する因子」	『日本口腔衛生学会雑誌』 vol.64(5) p409-414 2014年10月	共著
	「短期の専門的口腔ケアは口腔衛生環境改善に寄与する2-ランダム化比較試験-」	『日本口腔衛生学会雑誌』 vol.64(2) p206 2014年5月	共著
	"Effects of Professional Oral Health Care on Elderly 2"	<i>IADR(International Association for Dental Research)</i> Cape Town, South Africa	共著
	「パーキンソン病療養者の在宅療養生活を支える家族介護者の自己管理スキルに関する検討」	『日本健康教育学会誌』 vol.22 Suppl.p57 2014年7月	共著
	「介護保険施設における常勤歯科衛生士の業務内容とその効果」	『日本歯科衛生学会雑誌』 vol.9(1)p190 2014 年8月	共著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
森野 智子	「歯科のないケアミックス病院における歯科衛生士の新人教育の現状」	『日本歯科衛生学会雑誌』 vol.9(1)p96 2014年 8 月	共著
	「パーキンソン病療養者を中心としたバランスボールを用いた運動プログラム普及活動とその評価」	『せいいい看護学会誌』 第 5 回せいいい看護学会学術集会 - プログラム・抄録集 - A-33,Vol.5 No.1 September 2014	共著
	「パーキンソン病療養者を対象とした運動プログラムにおける肯定的表現の分析-テキストマイニングを活用して-」	『せいいい看護学会誌』 第 5 回せいいい看護学会学術集会 - プログラム・抄録集 - A-34,Vol.5 No.1 September 2014	共著
	「パーキンソン病療養者の舌圧におけるバランスボールを用いた運動プログラムの効果」	『日本公衆衛生雑誌』 vol.61(10) 特別附録 p520 2014 年 10 月	共著
	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす効果について」	『日本公衆衛生雑誌』 vol.61(10) 特別附録 p519 2014 年 10 月	共著
山本 智美	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす効果について」	『日本公衆衛生雑誌』 Vol.61(10) 特別附録 p519 2014 年 10 月	共著
	「牧之原市の 65 歳高齢者における地域支援事業の歯科相談参加行動に関する因子」	『日本口腔衛生学会雑誌』 vol.64(5) p409-414 2014 年 10 月	共著

## 社会福祉学科

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
天野 ゆかり	『こんなときどうする?在宅医療と介護 ケースで学ぶ倫理と法』	南山堂 2014年3月	共著
	「ベトナム第6回全国看護科学会議について:来日したベトナム人EPA候補者の教育を中心とした背景」	『国際関係・比較文化研究』(静岡県立大学国際関係学部)第13巻第1号 p165-189 2014年9月	共著
	「介護福祉養成におけるポジショニング教育プログラムの開発(その1)」	『第21回日本介護福祉教育学会プログラム・発表要旨集』p34 2014年8月	共著
	「補助具が水平位で歯科受療する患者のストレス軽減に及ぼす効果について」	『日本公衆衛生雑誌第73回日本公衆衛生学会総会抄録集』第61巻第10号 p519 2014年10月	単著
	「EPA就学コースの学生を受け入れた養成校のアンケート結果から分かったこと」	『平成26年度公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会全国教員研修会(全国大会)プログラム・要旨集』p44 2014年11月	単著
漁田 俊子	"Environmental context-dependent memory."	<i>Advances in Experimental Psychology Research</i> . NOVA Science Publishers, New York. in A. J. Thornton ed. p115-151.(Invitation only) (2014. 2)	共著
	「保育士養成新カリ「保育実習指導と保育実習」評価方法の構築2」	日本保育会第67回大会発表論文集 p505 (2014年5月)	共著
	"Odor-context effects in free recall after a short retention interval: a new methodology for controlling adaptation."	<i>Memory &amp; Cognition</i> , 42(3), p421-433 (2014. 4)	共著
	「BGM文脈手がかり強度におよぼす楽曲の熟知性の効果」	日本認知心理学会第12回大会発表論文 p70 (2014年6月)	共著
	「記銘材料の有意義性がBGM文脈依存再認に及ぼす効果」	日本認知心理学会第12回大会発表論文 p71 (2014年6月)	共著
	「実験参加者間で操作したビデオ文脈依存効果」	日本認知心理学会第12回大会発表論文集 p72 (2014年6月)	共著
	「項目対とビデオ文脈の意味的関連性が対連合学習におよぼす効果」	日本認知心理学会第12回大会発表論文集 p73 (2014年6月)	共著
	「偶発的背景刺激を利用した対連合学習促進法」	日本認知心理学会第12回大会発表論文集 p74 (2014年6月)	共著
	「これからの家庭教育支援のあり方」	これからの家庭教育支援のあり方-横の連携と縦の接続- p9-10 第33期静岡県社会教育委員会 (2014年7月)	単著
「再認における背景写真の環境的文脈依存効果」	日本心理学会第78回大会発表論文集 p811 (2014年9月)	共著	

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
漁田 俊子	「参加型健康教育による保護者の養育意識・態度への影響」	日本歯科衛生学会第9回学術大会(2014年9月)	共著
	「育児学習会への参加しやすさに影響する因子の予備的検討」	日本公衆衛生学会第73回総会(2014年11月)	共著
奥田 都子	「ライフサイクルにおける介護問題」	『介護福祉学事典』(ミネルヴァ書房)p412-413 2014年10月	単著
	「介護福祉と家族の捉え方」	『介護福祉学事典』(ミネルヴァ書房)p562-563 2014年10月	単著
	「介護福祉と家族関係」	『介護福祉学事典』(ミネルヴァ書房)p564-565 2014年10月	単著
	「介護福祉と家族の法律」	『介護福祉学事典』(ミネルヴァ書房)p566-567 2014年10月	単著
佐々木 隆志	"Study of End-stage Care Management in Japan"	中央法規出版 2014年2月 p1-237	単著
	『高齢者のクラフトサロン① リハビリおりがみ』	誠文堂新光社 2014年10月20日 p1-126	共著
	「介護保険居宅サービスにおける介護職員確保に関する社会学的分析」	『USフォーラム 2014』 p76 2014年9月	共著
	新 社会福祉養成課程対応 『高齢者への支援と介護保険制度』	みらい 2014年2月 p207-219	共著
鈴木 俊文	「第2章 震災時に巻き込まれる5つの変化を「学ぶ」」	『災害時の介護 - 介護施設が巻き込まれる5つの変化 -』(株式会社みらい) p25-38 2014年3月	単著
	「第3章 災害過程アセスメントで「備える」 - 5つの災害ケースメソッド」	『災害時の介護 - 介護施設が巻き込まれる5つの変化 -』(株式会社みらい) p39-49 2014年3月	単著
	「災害過程アセスメントシート」	『災害時の介護 - 介護施設が巻き込まれる5つの変化 -』(株式会社みらい) p72-78 2014年3月	単著
	「認知症介護実践リーダー研修受講者の「その後」に関する調査研究」	日本認知症ケア学会誌 Vol13 (1) p 277 2014年4月	共著
	「介護職員が捉えるニーズの差異に関する調査研究(2) - 中堅職員の「知る」という経験を焦点に -」	日本認知症ケア学会誌 Vol13 (1) p 218 2014年4月	共著
	「質的研究の進め方」	第10回日本福祉大学夏季大学院公開ゼミナール受講の手引き p68-80 2014年7月	単著

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
鈴木 俊文	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取り組み① ―静岡県における災害対策基礎講座の取り組みから―」	『第21回 日本介護福祉教育学会発表要旨集』 p95 2014年8月	共著
	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取り組み② ―震災ケースメソッドを活用した災害過程アセスメントツールの効果と課題―」	『第21回 日本介護福祉教育学会発表要旨集』 p96 2014年8月	共著
	「どうなる?ライフラインが途絶えた時-事例から学ぶ災害時の備えと対策-」	『レクリエ』(世界文化社) 2014年9・10月号 p52-61 2014年9月	共著
	「災害介護に関する研究」	『介護福祉学事典』(ミネルヴァ書房) p194-195 2014年10月	単著
	「高等教育における卒業教育の課題-介護福祉士のキャリア発達プロセス・要因に基づく研修体系の構築を目指した研究デザイン-」	日本社会福祉学会第62回秋季大会開催校企画資料集 p30-33 2014年11月	単著
立花 明彦	「高齢者への図書館サービス」の講義メニュー：考察と展望」	『日本図書館研究会 第55回研究大会予稿集』 p39-50 2014年2月	共著
	「公共図書館を場とした高齢者の知的探求と、その社会還元に関する一考察」	『桃山学院大学人間科学』第45号 p175-204 2014年3月	共著
	『災害時の介護：介護施設が巻き込まれる5つの変化』	榎みらい 2014年3月	共著
	『情報資源組織論：よりよい情報アクセスを支える技とシステム』	ミネルヴァ書房 p187-188 2014年4月	共著
	『何かお手伝いしましょうか：目の不自由な人への手助けブック』	榎産学社 2014年6月	単著
	「高齢者への図書館サービス」の講義メニュー：考察と展望」	『図書館界』Vol.66 No.2 日本図書館研究会 p146-154 2014年7月	共著
	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取り組み① ―静岡県における災害対策基礎講座の取り組みから―」	『第21回 日本介護福祉教育学会発表要旨集』 p95 2014年8月	共著
	「福祉施設における災害対応研修モデルの開発に向けた取り組み② ―震災ケースメソッドを活用した災害過程アセスメントツールの効果と課題―」	『第21回 日本介護福祉教育学会発表要旨集』 p96 2014年8月	共著
「ノーマライゼーション社会を築く教育 ―新たな100年に向かって―」	創立百周年記念誌 広島県立広島中央特別支援学校 p61-62 2014年9月	単著	
「障害者サービスと日本図書館研究会：障害者会員が語る、これまでとこれから」	『図書館界』Vol.66 No.4 日本図書館研究会 p286-295 2014年11月	共著	

氏名	著書・論文名等	掲載誌名・発行年月	備考
中澤 秀一	「若手組合員のリアル」	『所報』（静岡県労働研究所）第26号 p19-28 2014年5月	単著
	「社会保障政策」	『日本労働年鑑』（旬報社）第84集 p395-405 2014年6月	単著
	「学生の労働組合に対する認識—知識・イメージ・加入意向～アンケート調査（第6回）の結果より～」	『労働総研クォーター』（労働運動総合研究所） No.95 p42-49 2014年7月	共著
	「現代版マーケット・バスケット方式による最低生計費試算」	『USフォーラム 2014』紙面発表 p188 2014 年9月	単著
庭野 晃子	「新人保育士の退職防止のための教育・研修プログラムの開発」	一般財団法人 こども未来財団『平成25年度 児童関連サービス調査研究等事業報告書』 2014年3月	単著
	「保育士養成新カリ「保育実習指導と保育実習」評価方法の構築2」	『日本保育学会第67回大会発表論文集』 2014年5月	共著
	「『新任保育者』の早期離職に関する調査I～職場で直面した困難と対応について～」	静岡家族問題研究会 2014年9月	単著
松平 千佳	「スキルアップ!遊びで子どもを支援する 領域別・分野別プレイ・プレバレーション 手術を受ける子どもに対するプレイ・プレバレーション」	『こどもケア』日総研出版 8(6) p1-7 2014年2 月	共著
山本 学	「旧立川市多摩川小学校有効活用事業との連携に関して」	第8回東京女子体育大学・東京女子体育短期 大学研究フォーラム、東京女子体育大学、2014 年1月22日	共著
	「伊澤エイに関する研究Ⅲ」	第8回東京女子体育大学・東京女子体育短期 大学研究フォーラム、東京女子体育大学、2014 年1月22日	共著
	「旧立川市多摩川小学校有効活用事業との連携に関して」	『東京女子体育大学女子体育研究所所報』8 pp19-28 2014年3月	共著
	「伊澤エイに関する研究Ⅲ-『基本運動集』における動きの指導と音楽の編曲-」	『東京女子体育大学女子体育研究所所報』8 pp29-37 2014年3月	共著
	くにたち市民芸術小ホール・ランチタイムコンサート（ピアノ伴奏） 「ホルン協奏曲第一番」モーツァルトほか6 曲	くにたち市民芸術小ホール 2014年6月25日	共著
	桐朋学園大学附属子供のための音楽教室 第90回演奏会（指揮） 「サウンドオブミュージック」より5曲	桐朋学園大学ボロニアホール 2014年10月12 日	共著
第9回米原市芸術展覧会音楽部門 教育 長賞（第2位）（作曲） 歌曲「このまち米原」	ルッチプラザ 310 ホール 2014年12月7日	単著	

## 平成 26 年度：外部資金採択一覧

## ■科学研究費補助金等

&lt;新規&gt;

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・助教	庭野 晃子	新人保育士の退職防止に関する研究 (2014年4月1日～2018年3月31日(予定))	780,000
基盤研究(C)	研究分担者	歯科衛生学科・准教授	野口 有紀	公的団地居住高齢者への運動・栄養・口腔複合介入プログラムの検証 (2014年4月1日～2017年3月31日(予定))	250,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	中澤 秀一	現代版マーケット・バスケット方式による最低生計費の実証的研究 (2014年4月1日～2018年3月31日(予定))	390,000

&lt;継続&gt;

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究(A)	研究分担者	一般教育等・講師	林 恵嗣	暑熱下運動時における熱中症発症の新メカニズム検証と新予防法の提案 (2013年4月1日～2017年3月31日)	500,000
基盤研究(B)	研究分担者	社会福祉学科・助教	天野 ゆかり	介護と在宅医療における倫理的・法的問題の検討 専門職の問題対応能力の向上のために (2012年4月1日～2015年3月31日(予定))	4,550,000
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・教授	佐々木 隆志	介護老人福祉施設における終末ケア全国実態調査研究(2011年4月28日～2015年3月31日(予定))	650,000
基盤研究(C)	研究代表者 研究分担者 研究分担者	社会福祉学科・講師 社会福祉学科・准教授 社会福祉学科・講師	鈴木 俊文 立花 明彦 濱 口 晋	介護施設における「災害過程」対応教材・研修プログラムの開発 (2012年4月1日～2016年3月31日(予定))	910,000
基盤研究(C)	研究代表者	歯科衛生学科・准教授	野口 有紀	養育者のオーラルヘルスリテラシーが3歳児の口腔健康に与える影響についての横断研究 (2013年4月1日～2016年3月31日(予定))	2,080,000

種目	研究者区分	所属・職名	氏名	研究課題・期間	配分額(円)
基盤研究(C)	研究代表者	社会福祉学科・准教授	松平 千佳	子どもにやさしい医療を創造するためのホスピタル・プレイに関する研究 (2011年4月28日～2015年3月31日(予定))	780,000
基盤研究(C)	研究分担者	社会福祉学科・教授	漁田 俊子	さまざまな環境情報が引き起こす文脈依存再認の包括的な説明原理の実証的探究 (2013年4月1日～2016年3月31日(予定))	1,300,000
基盤研究(C)	研究分担者 研究分担者	歯科衛生学科・講師 看護学科・講師	森野 智子 今福 恵子	パーキンソン病高齢者の家族介護者を中心とした在宅療養生活支援プログラムの開発 (2012年4月1日～2015年3月31日(予定))	780,000
挑戦的萌芽研究	研究代表者	看護学科・助教	影山 葉子	家族と「折り合いをつける」退院調整看護師の実践知の記述的研究 (2013年4月1日～2016年3月31日(予定))	650,000
若手研究(B)	研究代表者	一般教育等・講師	林 恵嗣	暑熱下運動時における熱中症に対する食事面からの予防策開発 (2013年4月1日～2015年3月31日(予定))	650,000

## ■その他の研究助成

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題・期間	助成金額(円)
研究代表者	看護学科・教授	古賀 震	公益財団法人 SBS静岡増進 センター理事長	生活習慣病(特に循環器疾患、脳血管障害および骨粗鬆症による骨折)の発症予防に関する研究(継続)	500,000
研究代表者	歯科衛生学科・准教授	木林 美由紀	一般財団 法人旗影会	食育支援における咀嚼力の育成に影響を及ぼす摂取野菜の種類および調理法	1,000,000
研究代表者 研究分担者 研究分担者 研究分担者	社会福祉学科:准教授 社会福祉学科:講師 社会福祉学科:講師 社会福祉学科:講師 社会福祉学科:助教	松平 千佳 鈴木 俊文 濱口 晋 木林 身江子 大石 桂子	社会福祉法 人白 翁 会	「科学的介護の実践に係る介護福祉事業のモデル開発」について (2013年4月1日～2015年3月31日(予定))	150,000
研究代表者	社会福祉学科・講師	鈴木 俊文	社 会 福 祉 法 人 明 翠 会	受託研究事業『個別ケア推進・人材育成循環型「施設ケアマネジメントシステムモデル」の開発』 (2014年4月～2015年3月)	240,000

研究者区分	所属・職名	氏名	研究助成者	研究課題・期間	助成金額(円)
研究代表者	歯科衛生学科・講師	森野 智子	訓練 歯 研 究 会	口腔機能維持・改善に有効な訓練歯に関する研究開発 (2014年7月14日～2015年2月27日)	300,000
研究代表者	歯科衛生学科・講師	森野 智子	株式会社フィリップス スエレクトロニクスジャパン	介護現場における介護労働者の負担軽減に向けた電動歯ブラシを用いた口腔ケアプログラムの検討 (2014年11月18日～2016年10月31日)	1,500,000
研究代表者	看護学科・助教	影山 葉子	公益財団法人 上 廣 倫 理 財 団	家族の意思決定を支援する退院調整看護師の実践知に関する研究 (2014年1月～2015年12月)	1,200,000

### ■奨学寄付金

研究者区分	所属・職名	氏名	寄付申込者	研究課題・期間	寄付金額(円)
奨学寄付金	看護学科・教授	古 賀 震	公益財団法人 SBS 静 岡 増 進 センター 理事長	血液検査および画像データと臓器障害(特に肺、腎、肝など)の病態解析に関する研究	615,000

## 静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則

平成 21 年 7 月 1 日 細則第 40 号

改正 平成 23 年 1 月 11 日、平成 26 年 1 月 29 日

(目的)

第1条 本学における学術研究（調査などを含む。）の成果を発表するために、静岡県立大学短期大学部研究紀要（以下「紀要」という。）を刊行する。

(原稿の種別)

第2条 紀要に掲載する研究成果は、次のものとする。

- (1) 未発表（口頭発表を除く。）の研究論文、調査報告、短報など
- (2) 総説、資料など
- (3) 発行年度 12 月末までの 1 年間の研究成果で、紀要以外に発表したものの一覧
- (4) その他図書館・紀要委員会（以下「委員会」という。）が掲載の必要を認めたもの

(投稿者の資格)

第3条 紀要に研究成果を発表する資格を有する者は、次の者とする。ただし、本学専任教員との共同執筆の場合はこの限りではない。

- (1) 本学の専任教員
- (2) その他委員会で認められた者

(刊行)

第4条 冊子号は、原則として毎年度 1 回、3 月末日までに刊行する。

(原稿の作成)

第5条 原稿は、別に定める執筆要領を基本として作成する。

- (1) 冊子号の原稿提出にあたっては、原稿本文に原稿を保存した電子媒体を添付する。Web 号原稿は、PDF ファイル形式で提出する。
- (2) 委員会は、執筆者に原稿の加除修正を求めることができる。

(原稿の受理)

第6条 紀要の原稿の受理は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の受理は、図書館・紀要委員会委員長が総括する。
- (2) 受理日付を記載する。
- (3) 締切り月日は、委員会の指定する日とし、同日より後の受理原稿は、次年度に掲載する。
- (4) Web 号の原稿は、完成された投稿原稿のみを受理する。

(編集)

第7条 冊子号の編集は、次のとおりとする。

- (1) 原稿の掲載順は、原稿受理順とする。
- (2) 校正は、原則として執筆者が行う。
- (3) 印刷部数は、発行の都度必要に応じて委員会で決定する。

2 Web 号紀要の原稿の掲載順は、原稿受理順とする。

(配布)

第8条 冊子号の配布は次のとおりとする。

(1) 贈与

次の者に、紀要の本冊ないし抜き刷りを贈与する。

- ①執筆者 本冊1部、抜き刷り 50 部
- ②本学専任教員 本冊 1 部
- ③その他紀要委員会で認めた者

(2) 交換

内外の諸研究機関と紀要、研究誌の交換を行う。

(3) 頒布

- ①頒布希望者には、部数に余裕のある場合に限り、本冊を頒布する。
- ②論文執筆者が、本条 (1) の①を超えて本冊又は抜き刷りをあらかじめ請求するときは、実費を本人負担のうえで増刷する。

(保管)

第9条 紀要の保管は、図書館で行う。

(倫理的配慮)

第10条 人及び動物を対象とした研究については、倫理的に配慮した旨を本文中に明記しなければならない。

(著作権)

第11条 掲載論文の著作権は、著者に帰属する。ただし、著者は、静岡県立大学短期大学部が投稿論文を印刷物として発行し、Web 上で公開することを許諾する。

附 則

( 施行期日 )

- 1 この細則は、平成 21 年 7 月 1 日から施行する。  
( 静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則の廃止 )
- 2 静岡県立大学短期大学部研究紀要規程に関する細則 ( 平成 19 年 4 月 1 日 細則第 53 号 ) は、廃止する。

附 則

この細則は、平成 23 年 1 月 11 日から施行する。

附 則

この細則は、平成 26 年 1 月 29 日から施行する。



## 編集方針

「静岡県立大学短期大学部研究紀要に関する細則」に準拠して『研究紀要』を編集した。

---

## 静岡県立大学短期大学部研究紀要

第28号 (2014年)

---

2015年3月25日発行

発行：静岡県立大学短期大学部

〒422-8021 静岡県静岡市駿河区小鹿2丁目2番1号

(電話) 054-202-2600 (代表)

(電話) 054-202-2617 (附属図書館)

(FAX) 054-202-2602 (附属図書館)

編集：図書館・紀要委員会

委員長 漁田 俊子 (社会福祉学科)

委員 那須 恵子 (一般教育等)

委員 今福 恵子 (看護学科)

委員 野口 有紀 (歯科衛生学科)

委員 三田 英二 (社会福祉学科)

印刷所：創文社印刷株式会社

〒420-0812 静岡県静岡市葵区古庄2丁目7番16号

(電話) 054-265-0870

(FAX) 054-265-2180